教育長	教育部長	課長	指導主事	課長補佐	主査	係	保存区分
							永・10 5・1

令和元年大口町教育委員会 5月定例会議

令和元年 5月30日

午前 9時30分 開 議

大口町中央公民館 2階 C会議室

議事日程

日程第1 教育長報告

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 議 題

議案第9号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

日程第4 連絡事項

- (1) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について
- (2) 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (3) 「大口町史～現代史編～」編さんの進捗状況について
- (4) 各課からの連絡について

日程第5 その他

出席者

教 育 長	長 屋 孝 成	教育長職務代理者	藤 田 金 生
委 員	丹 羽 茂 文	委 員	鈴 村 由 布 子
委 員	水 谷 恵 子		

説明のため出席した者

生涯教育部長 渡邊俊次

学校給食センター所長 江口靖史

町史編さん室次長 木浪浩行

学校教育課長 倉知千鶴

生涯学習課長 丹羽武弘

町立図書館長 吉田桂志

学校教育課主幹兼
指導主事 江口孝一郎

学校教育課長補佐 兼 松昌史

◎開会

○長屋教育長 それでは、定刻になりましたので始めます。

本日の出席委員は4名であります。定足数に達していますので、これより令和元年大口町教育委員会5月定例会を始めます。

なお、傍聴人はございません。

(午前 9時30分)

◎日程第1 教育長報告

○長屋教育長 日程第1、教育長報告ということで、諸案件を報告させていただきます。

前回、4月25日です。それ以降の件であります。ことしは新しい年号にかわっていくということでいろんなことがありまして、4月27日から5月6日まで10連休という大変初めての経験をしました。児童・生徒たちのその後どうなっていくかなという心配は、それぞれ各学校で事前の指導はしていたと思いますが、幸い休み明けの心配はなく、どの学校も順調に教育活動が展開をしている状況であります。

それにしましても、令和ということは大変好感を持って国民に受け入れられていると、心美しいというか、清らかというか、また心が通じる、和むというような意味で令和の時代を迎えたと思っておりましたら、先般5月28日、川崎市で登校中の小学生、また保護者が襲われるという大変痛ましい事件が発生し、日本中を震撼させたことだと思っております。

じゃあどうしたら防げるのかということですが、なかなか現時点でいい知恵は浮かばないわけですが、学校教育課としては、学校と連携を密にして、なるべく子供たちの登下校の折には見守りを強化してほしいということを確認し合うぐらいのことしかできませんが、また委員の皆さんのほうで、こういうことをやるといいよというような御意見がありましたらお願いしたいと思えます。

それから、大口町のことで、5月13日に臨時議会がありまして、新しい議会の組織が確立をしました。議長に倉知議員が、副議長に酒井議員が決まり、組織が確立したところであります。

それから、5月9日から10日にかけて、全国の町村の教育長協議会の総会、そして研修会がありましたので、東京に出かけていきました。お手元に文部科学省の初等中等教育局の方が説明をされた大変たくさんの資料の中からコンパクトに5枚分ほどを委員さんに配付させていただきました。今後、新しい時代の初等中等教育のあり方について諮問が行われ、そして中央教育審議会でも審議されていくことが1ページ目のことでもあります。現在の学校教育について、成果も書かれておりますが、社会が急激に変化していくことでさまざまな問題が顕在化

してきているということでありまして、その中で特に児童・生徒の語彙力とか読解力に問題がある。それから、学習時間が大変少なくなってきたというし、学習意欲が低下してきているというようなことに対して、どう対応していくのかというのが全日本の義務教育の流れで検討をされていくということでもあります。

それから、2枚目の資料としましては、とりわけ今後の学習指導要領改訂のスケジュールということで、裏をごらんいただきたいと思いますが、今年度まで移行期間で、来年度から小学校は新学習指導要領の全面実施に入っていくと。それから、今年度、教科書の採択を進めて、来年度から新しい教科書になっていくということ。それから、中学校につきましては、1年おくらせて進められるということでもあります。

なお、教科書の見本が届いておりますので、委員さん、それぞれ好きな教科というか、気になる教科の教科書を随時こちらへ寄られた折にお持ち帰りいただくといいかなと思いますので、また後ほど教育長室にお送りください。

それから、3枚目のところが新学習指導要領の考え方がコンパクトにまとめられて、今後、各学校、各家庭にもリーフレット等が配付されて、啓発を図っていくというものであります。

それから、4枚目、5枚目につきましては、外国語教育の教科イメージというようなこと、それから道徳が今まで道徳の時間だったわけですが、現在、特別な教科 道徳というふうになっておりまして、そのポイントについてまとめられたものでありますので、後ほどまた目を通していただければ幸いです。

それから、児童・生徒関係についてですが、1件、5月22日の昼放課ですが、大口西小学校の2年生の児童がうんていで遊んでおって、うんていから落下をして肘を骨折したという案件が報告されております。

それから、先般の報告の折に報告をさせていただきましたが、昨年度の9月から10月に起きた大口北小学校の事案についてですが、先般、町の顧問弁護士を代理人に立てて、解決に向けて苦慮しているという話をしましたけれども、現在、担任につきましては休職中でありまして、9月ぐらいから復職プログラムに入れるかどうかという状況でありまして、来週の土曜日ぐらいのところでは本人さん、担任の先生、前の担任の先生、学校に来て校長先生と面談をする機会があると伺っております。

報告については以上であります。

◎日程第2 議事録署名者の指名

○長屋教育長 それでは、日程第2、議事録署名者を指名したいと思います。

議事録署名者には、藤田金生職務代理者と丹羽茂文委員を指名しますので、どうぞよろしく

お願いします。

◎日程第3 議 題

議案第9号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について

○長屋教育長 それでは、日程第3、議題に入ります。

議案第9号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について、事務局、説明をお願いします。

○兼松学校教育課長補佐 議案第9号 大口町教育委員会後援名義の使用許可について。

別紙のとおり後援名義使用許可申請がありましたので、大口町教育委員会の議決を求める。

令和元年5月30日提出、大口町教育委員会教育長 長屋孝成。

提案理由、この案を提出するのは、大口町教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条により、審査を求める必要があるからである。

1枚めくっていただきますと申請書になっております。

申請者、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会2019年度。事業名、第52回愛知ブロック大会（江南大会）。目的、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会2019年度の活動を市民に発信することを目的とします。事業概要、屋内会場、各委員会によるフォーラム・セミナーを開催。屋外会場、ステージイベントを開催、江南市民の御当地グルメ博を開催ということでございます。期日は2019年9月14日土曜日、1日となっております。開催場所、江南市民文化会館。

幾つかめくっていただきますとカラーの資料がございます。

昨年度のチラシと今年度のということで、ちょっとバスの絵がついたやつですかね、「誰もが「未来」の主人公！」で、ことし9月14日に江南市民文化会館で予定されております。

また、講演等でちょっとゲストの方が決まっていないようなところではありますが、今現在のこちらがチラシになっております。

昨年度も別のところで、昨年のチラシがついておまして、昨年ですと田原で実施をしております。

今回、後援名義ということで御依頼がありました。江南市で開催するということで、近隣市町の後援名義をとってチラシとかポスターの配布もお願いしたいということでもあります。

一応、江南市の教育委員会の後援名義は既にとってみえるとお聞きしております。また、チラシは今現在、作成途中で、お伺いしたところ、後援名義をとれたところから、後援という形で入れさせていただきますというようなことも聞いております。

簡単ですが、以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この件につきまして、御質問、御意見等ありましたらお願いします。

よろしいですか。

○鈴木委員 上のチラシを見ますと、愛知県、田原市、豊橋市などなどで、教育委員会の後援は入っていないので、特別、教育委員会が後援しなくてもいいのではないかなど、ふと思ったりもいたしました。

○長屋教育長 ありがとうございます。

事務局、何かいいですか、今の件で。

○兼松学校教育課長補佐 はい。

○長屋教育長 昨年度は、教育委員会の名義が入っていなかったということで、なしでもいいんじゃないかなという御意見だと思います。

あとよろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、質疑もないようですので、これをもちまして質疑は終了します。

議案第9号を採決します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

○藤田教育長職務代理者 町長部局だけでいいなという気持ちはありますけど、かつて丹羽ライオンズのスイーツの何かしらを後援したことがあると思うんですが、そのことを考えれば、これも妥当だと思いますが、ただ、子供たちがどういうふうに参加していくかという、そこら辺のところは主催者のほうでしっかり把握していただけるかと思いますが。

○長屋教育長 鈴木委員。

○鈴木委員 反対というわけではないので。

○長屋教育長 反対というわけじゃないということで、はい。

○丹羽委員 私も町だけでいいと思いますけどね。

これは、主催が江南市の市民文化会館を使われるから、ついでと言ったら失礼だけど、江南市教育委員会が入っているような感じがするけれども、内容は教育委員会が後援するような内容じゃないですもんね。

○長屋教育長 ほかに、水谷委員、どうですか。

○水谷委員 同様に思います。

○長屋教育長 大方の御意見、皆さん、この案件については後援名義を与える必要はないんじゃないかという方向で御意見いただきましたので、よろしいですか、そういう方向で。

事務局、何か。

○倉知学校教育課長 昨年度と比べていただきますと、親という立場で何かやろうということが

2つほどブースになってきておまして、親となると、やっぱり教育かなというようなこともあって、これしっかり決まっていけないもんですから、事務局としてもなかなか強くお願いできない、苦しいところではあるんですけども、その辺を少しお含みいただけるとありがたいなとは思っています。

「次世代を担う青少年を導こう」となっておりますので。

○長屋教育長 事務局の気持ちとしては、後援名義をしていただきたいなというような思いではありますが、どうさせてもらいましょうか。

○藤田教育長職務代理者 ただ、先ほど言ったみたいに、丹羽ライオンズの件があるから、同じような考え方で後援してもよろしいという僕の意見です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

○藤田教育長職務代理者 何も町長部局だけでやればいいがというのが本当の気持ちですが。

○丹羽委員 丹羽ライオンズの場合は、地元ですからね。

全員一致でなくてもいいから、過半数を切らなきゃいいんでしょう。

○長屋教育長 過半数ということになれば。

○丹羽委員 私は不要だと思います。

○長屋教育長 はい。

どちらでも、どちらかといったら、後援名義をしないほうがいいんじゃないかなという御意見だったと思いますが、鈴木委員。

○鈴木委員 どちらかといえばなくていいのかなと。

○長屋教育長 水谷委員。

○水谷委員 ちょっと、どちらとも返事がしがたいです。

○長屋教育長 どうさせてもらいましょうかね。今までで一番難しい採決の仕方ですね。

○丹羽委員 教育長、挙手でどうですか。3票入ればいいんでしょう。

○長屋教育長 そうですね。

この案のとおり、後援名義を与えていくという方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○長屋教育長 そうしないという方の挙手をお願いします。

(反対者挙手)

○長屋教育長 3対1ということで、後援名義を与えないということで。

事務局、よろしいですか。

○倉知学校教育課長 はい。

◎日程第4 連絡事項

○長屋教育長 続きまして日程第4、連絡事項に入ります。

まず、大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告についてということで、事務局、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について。

このことについて、大口町教育委員会後援名義の使用に関する要綱第5条第4項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

使用許可でございます。9件ございます。

1件目、大口町体育協会、許可年月日、31年4月19日、事業名、第7回大口町地区別対抗グランドゴルフ大会。

2つ目、申請者、大口町NPO登録団体サラダボールC o . . 、許可年月日、31年4月19日、事業名、大口こどもカレッジ2019。

3件目、申請者、大口町・扶桑町親善体育大会、許可年月日、31年4月19日、事業名、第45回大口町・扶桑町親善体育大会。

4件目、申請者、私学をよくする愛知父母懇談会江南ブロック、許可年月日、令和元年5月7日、事業名、教育を考える初夏のつどいIN扶桑。

5番目、申請者、NPO法人こどもサポートクラブ東海、許可年月日、令和元年5月16日、事業名、第12回夏休みこどもカルチャー講座。

6件目、申請者、こども夢の商店街実行委員会、許可年月日、令和元年5月16日、事業名、こども夢の商店街ハタラクKIDS MALL。

7件目、申請者、大口町伝統文化普及実行委員会、許可年月日、令和元年5月16日、事業名、日本舞踊を踊りましょう。

8件目、申請者、愛知サマーセミナー実行委員会、許可年月日、令和元年5月20日、事業名、第31回愛知サマーセミナー。

9件目、申請者、愛知服育研究会、許可年月日、令和元年5月20日、事業名、服育発表会。
以上が使用許可になっております。

続いて、実績報告でございます。

2件ございます。

申請者、地域別県民文化大祭典中央実行委員会、事業実施日、平成30年11月25日、事業名、地域別県民文化大祭典2018。

2件目、申請者、こども夢の商店街実行委員会、事業実施日、31年3月31日、事業名、こども夢の商店街ハタラクKIDS MALL。

以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

御質問等ございませんか。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 続きまして、次に行きます。

令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の認定につきまして、事務局、お願いします。

○兼松学校教育課長補佐 本日配付しました資料をごらんください。

また、個人名もありますので、名簿は本日つけておりますので、また一度、名簿で該当の方御確認をいただければと思います。

済みません、個人名が入っている資料につきましては、会議終了後、回収をさせていただきますのでお願いします。

今、現状としまして、南小学校は準要保護12件となっております。北小学校は準要保護35件、西小学校は準要保護が51件、小学校については要保護がなく、準要保護が合わせて98件となっております。

大口中学校でございます。大口中学校は、要保護が1件ございます。準要保護が45件、合わせて46件が中学校として上がっております。

全体としましては、要保護が1件、準要保護が143件、合計144件となっております。

昨年度と比べますと、昨年度が年度末のところでは、要保護が全体では2件、準要保護が146件、合計148件となっております。パーセンテージは、去年は全体6.9%、ことしは6.7%ということで、若干、卒業した子、新1年生が小学校に入った子というところではありますが、そんなに大きく変動はないという形になっております。

簡単ですが、以上でございます。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この件につきまして、御質問等ございませんか。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、次へ進みます。

(3)番、大口町史編さん進捗状況についてお願いします。

○木浪町史編さん室次長 では、失礼いたします。

お手元の資料、3枚ございますので、これに沿って御説明を申し上げます。

町史編さん室は、平成30年4月1日に正式に設置をされまして、1枚目でございます1の基

本方針に沿って事業を進めてまいったところであります。

2番目の平成30年度の活動としまして、主な活動は、基礎資料の作成にほぼ時間を費やしたこと、それから2カ月に1度の町史編さん講座を開催してきたという、この2つが大きなところでございます。

3つ目の編さんに向けての体制ということで、職員以外の話でございますが、30年10月から調査協力員の登録受け付けを開始いたしまして、8名の方が登録をしていただきました。その方々、それぞれいろんな役割を担っていただいておりますが、特にこちらに来ていただいて資料の整理とか入力だとかといった作業をしていただいている方が常時、大体1名から2名、月、多いときで3名という形であります。ちなみに水谷委員さんは、今、調査協力員としてお手伝いをいただいております。

それから、編集委員会が31年4月です。この間の4月に設置をいたしまして、編集委員会をもって町史の本文を書き進んでいこうというところであります。

それから、4番目の年次計画と目次素案については、次のページで御説明いたします。はねていただきまして2ページ目でございます。

町史のスケジュールにつきましては、最終は令和3年度の末が一応でき上がりというところで、ここを目途にずうっと進めているところであります。

今年度につきましては、本文の文字原稿、それから町民の皆さんからの情報に基づいたコラムなどの文字化を中心に進めてまいります。来年度は、それを書いていく上でいろんな追加分が出てくるだろうというの見越して、大体、半期ぐらいまでは文字原稿の期間に一応予備として見ております。そして、同時にページづけということで、順番ですとか、それからその中に入る写真ですとか図案ですとかというものをどんなものを入れていこうかといったことを検討していく年ということでもあります。そして、最終の3年度に業者を決めまして、その落札業者がまず文体の統一、それから不適切用語とかのチェックをかけた上で、あとは図案の入ったもので本来のでき上がりの原稿の作成に向けた校正を3回行って、最終的に令和4年3月には納品をするという予定でございます。

では、はねていただきまして、これは4月までで大体固まった目次の案でございます。

緑色のをまずちょっと注目して見ていただきたいと思っております。

はじめにというのと、それから第1編が大口の概要ということで、手短かに大口の大体の概要ということで、ここで書かせていただくと。

それから、第2編として、大口の現代史ということで、これは本来、今回の町史は昭和57年に出たその後を書こうというような発想で始まったのではあります。監修の先生等々、御相談をして、現代史という形でまとめていったほうがいいでしょうということで、現代史という

ことになりますと、戦後からというのが基本になってくるよという話ですので、戦後からの形で記述をしていこうという中で、第2編が大口の現代史ということで、序章として、その前の現代史前までのことをおさらいしていくということで、1節から5節まで原始・古代、中世、近世、近代1、近代2と分けてございます。

そして、第1章として村政・町政、いわゆる政治史になってまいりますが、これをほぼ時代区分を5つに分けて書いていこうと。

それから、第2章が経済活動に絞りまして、農業、工業、商業、交通・通信といった形でまとめてまいります。

はねていただきまして、裏面でございますが、第3章として暮らしの変化というところで、こういったところは特に町民の皆さん、編集委員の皆さんの活躍の場というんですかね、いろいろと御経験をされたことなんかを踏まえながら記述をしていくというような形になっていこうかと考えております。

第4章は、住民の意識の変化というようなことで、最初、実は暮らしの変化という案の中でやっていたのですが、戦前から戦後の変化ですとか、地元意識の変化とか、それから外国人の増加、それから活発化する住民活動といった住民意識のことは、ちょっとまた別に章立てをしてきちっと書いたほうがいいんじゃないかというようなことで、編集委員会の中で話し合いをしまして、こういった形になっております。

そして、第5章は、大体、近代から近現代で活躍をされた方について少し記述をしていこうということでございます。

そして、第3編、行政区の変化ということで、大口町の中でも地域的な変化というところにちょっと目を向けて考えていきたいと。

特に、第2章の地名は、今、何丁目何番地という書き方になっておりますが、旧来の大字・小字というものについて、昭和57年の大口町史でもその辺は述べられているんですけども、今回は特に名前の由来、伝承、この名前はこういうふうでこういう名前になったんだそうだよといった伝承を主に書いていきたい。昭和の町史では、地名については、どちらかという一般的な学術書に基づいて、この地名はこういった名前の場合はこういった由来が考えられるといった形の記述が目立ったんですが、そうではなくて、地元の皆さんからお話を聞いて、それで伝承として、この地名がこうやってついたんだよというようなことがわかるものは、できるだけそういった情報を拾って書いていきたい。

第3章で、その地図というものを行政区ごとにつくりまして、大口町の各行政区ごとの中で大字・小字の境界の入ったものの上から赤で、今はここは第何丁目ですよといった形の地図をつくりたいということであります。下にちょっとありますけれども、青で書いてございますが、

各節ごとに適宜、追加とか修正をしてみたいと思います。

骨格としましては、第3編、1編、2編、3編、それからその中の章立てぐらいまではこれで行きたいなと思っております。できれば、節も大体こんな感じでいきたいなとは思っておりますが、節とその中の細かい項目については、若干の追加とか修正がこれから書き進んでいくにつれて出てくるだろうということでもあります。

そして、項目ごとに町民の皆さんから情報とか体験談を集めまして、本文に寄り添うという形でコラムという形にして、ちょっとかたい話の中に体験談なんかを入れていくというようなことで、かたい話とやわらかい話と両方載せたい。そして、写真、グラフ、表を多用する、それからオールカラーにするということ、見開いたときに文字だけのページばかりというのはちょっと避けたい。あくまでも、見開いたときに、何かしらの写真なりグラフなり表なりというものが入っているとより読みやすくなるだろうということを目指しております。項目のところで、赤で20Pとか10Pとかとありますが、大体配分としてこのぐらいの配分でページを割いていこうということでもあります。大体400ページをめどにしております。

版の大きさとしては、今B5判ぐらいで考えておりますが、A4判という、もうちょっと大きい形になるやもしれません。これは、書いていったボリュームによってちょっとその辺は変えるかもしれないです。

それから、第4章の第1節で、わざわざ後藤先生という個人名が入っております。監修の先生はお二人お見えになりますが、今、愛知県史の現代史をちょうど刊行する時期になっておりますが、その責任、統括をしているのが愛知学院大学の現代史の後藤教授なんですが、この方にメインの監修をしていただいております、この人のお弟子さんに当たる岡先生、今、講師をされておられますが、岡先生と2人体制で今、監修を受けていただいております、後藤先生、大変お忙しい方なので、会議に出て助言とかはさせていただきけれども、とてもじゃないけれども原稿までは書けないよという話だったんですが、実は昨年6月に個人日記ということで、あるお宅から昭和3年から51年までのお父様の日記を提供、これを使ってもいいですよということを見せていただいて、コピーをとらせていただいたんですが、その内容が非常にすばらしいというんですかね、資料として非常にクオリティーの高いということで、後藤先生、すっかりこの日記に魅了されたということで、ぜひとも戦前から戦後の変化ということを自分でこの日記から読み取って書きたいとおっしゃっていただけたということで、後藤先生の名前がここにちょっと入れさせていただいているようなことでございます。

今は、こういった形で、この目次(案)に沿って、編集委員の皆さんが、どなたがどこを担当していこうかというようなことで話し合いをしつつ、なおかつ、既に原稿をもう幾つか書いて事務局に出していただいている方もいらっしゃいます。そんな形で今進めているところでご

ざいます。

以上で、進捗状況についての報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○長屋教育長 ありがとうございました。

町史の件につきまして、御質問等ありましたら。

○丹羽委員 何冊つくるんですか。

○木浪町史編さん室次長 冊数については、まだ決めておりません。

○丹羽委員 各家庭に配付ということはないんですね。

○木浪町史編さん室次長 そういうことは……。

○丹羽委員 だから、図書館に置いたり、町に置いたりするわけですね、役場に。

○木浪町史編さん室次長 基本、図書館ですね。図書館がメインになって、学校と図書館がメインになって、あとは御希望の方に頒布するような形になっていくという、余りたくさんつくり過ぎて余らせるようなことのないようにしたいなとは思っております。

○長屋教育長 販売をするということ。

○木浪町史編さん室次長 販売も一応視野には入れております。

○長屋教育長 幾らぐらい。

○木浪町史編さん室次長 金額ですか。

○長屋教育長 うん。

○木浪町史編さん室次長 できれば、そんなに高くしたくないなというところであります。前回は2,500円での頒布でしたので、そこまではいかなないようにしたいなとは思っています。

○長屋教育長 2,500円ぐらいまで。

○木浪町史編さん室次長 できれば、その半分ぐらいにしたいなという、お手ごろなところで、買いやすいところかというところにしたいなというのはちょっと事務局の希望で。

○長屋教育長 まだ、わからんわね。

丹羽さん、いいですか。

○丹羽委員 はい。

○長屋教育長 あと、よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 次に進みます。

各課からの連絡ということで、それでは各課、順次お願いします。

○丹羽生涯学習課長 生涯学習課から報告等々させていただきます。

まず、報告3点ほどございまして、5月11日土曜日に登山教室、阿智村の富士見台高原へ行ってまいりました。参加者21人、全員が登頂でき、天候にも恵まれたということでございます。

2つ目が、春の企画展「端午の節句」が5月26日に終了しております。前年度と同様の来館者がございます、盛況ににぎわったということでございます。

それから、3点目でございますが、5月18日土曜日に第1回の駅伝の記録会、25名の方が参加をされました。愛知駅伝に向けた記録会でございますので、本番は12月7日土曜日にメモリアルパークで開催をされます。

それから、今後の予定2点ほどでございますが、第1回の町民体育祭の実行委員会、本日の午後7時に開催いたします。内容は、役員の選出、スケジュール等の確認でございます。なお、開催日、本番でございますが、10月6日の日曜日でございます。

それから、最後になりますが、第45回大口町・扶桑町の親善体育大会ということで、今回は大口町が会場になりますので、6月2日に大口町総合運動場等で開催がされますので、御連絡をさせていただきました。以上でございます。

○江口学校給食センター所長 給食センターからですが、5月8日水曜日に西小学校3年生の児童の方が給食センターに施設見学ということで来ていただきました。それに鈴木委員さんも同行していただきまして、ありがとうございます。後日、感想文をいただきまして、大変、給食センターが大きな釜でつくっていてびっくりしましたということで、これからは一生懸命食べさせていただきますというようなことが書いてありました。

それと、同じく5月14日火曜日なんですけれども、北小学校の2年生の子供さんが施設見学に、4月の遠足が2日も雨ということで順延で見えました。そして、一応9時半から1時間程度見学をされて、給食センターではトイレが使えないもんですから、役場でトイレ休憩をして帰りますということだったんですが、ちょうど終わったときに雨がぽつぽつしかけて、ちょうど役場へ行ったら、雷とどしゃ降りということで、私も終わってから、ちょっと役場へ行く用があって来たら、玄関のところで子供さんが座って、100人ぐらい見たんですかね。ということで、やっぱり1時間ぐらい待ってみえたようで、たまたま役場が近くでよかったと思うんです。あのまま帰られたら、どしゃ降りの雷で危険だったのかなあと思いました。以上です。

○吉田町立図書館長 図書館から御報告いたします。

5月18日、19日に小学校の5・6年生を対象としました子ども1日司書さんを実施いたしました。18名の参加がございました。19日の午前中、参加者ゼロだったもので、どうしたんだろうと思っていたら、ことしから新たに子ども会の行事が入っていたということで、今後は特に子ども会や学校の授業を注意して見ていきたいと考えております。これまで圧倒的に女の子が多いという参加者の男女比であったんですけど、ことしは男女半々という形で、男の子も多く参加していただきました。例年ですと西小学校が多いという形だったんですけど、西が多いん

ですが、北小学校と南小学校の割合が多くなったという形になっております。

また、昨日、5月29日から31日の金曜日まで3日間、今、大口中学校の職場体験で女子生徒2名がうちで職場体験をしていただいております。大口中学校の子どもたちが、また江南市の図書館でお世話になっているということもありますので、また御依頼がありましたら、昨年江南市の中学生の受け入れを大口も始めたんですけど、お互いさまと思っておりますので、そのようなことで対応していきたいと思っております。以上です。

○木浪町史編さん室次長 町史編さん室でございますが、5月19日午前中に町史編さん講座を行いました。それから、昼から第2回の町史の編集委員会を行っております。

今後の予定でございます。2カ月ほどですが、6月15日は午前中に編集委員会、7月14日、日曜日でございますが、午前中に町史編さん講座、昼から編集委員会を行う予定を組んでおります。よろしく願いいたします。以上でございます。

○倉知学校教育課長 最後に、学校教育課から御報告いたします。

1枚名簿がお手元にお配りしてあると思っております。これは、先月お配りしたのから南小学校の南地域自治組織会長さんのお名前がかわりました。総会が開かれて、その後、前回の名簿では佐竹さんが会長でこちらにお名前を頂戴しておりましたが、新たに大森明輝さんが南地域自治組織の会長として評議員となられましたので、御報告をさせていただきます。

あと、先ほど各課からも報告が出ておりましたが、職場体験を中学校がやっている点と修学旅行にきょうから出かけております。北小学校は、あしたから修学旅行に出かけていきます。

給食センターで見学をして、後に役場でトイレに行ったという話が給食センターのほうであったと思うんですけども、結局、歩いて帰ることがなかなか難しいような状況になって、役場のほうでバスを手配して学校まで送り届けるというようなことがございましたので、御報告をさせていただきます。以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

今、各課から報告がありましたけど、御質問等よろしいですか。

(挙手する者なし)

◎日程第5 その他

○長屋教育長 それでは、日程第5に入ります。その他ということでお願いをします。

事務局、ありますか。いいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 委員さん方で何かありましたら。

○鈴木委員 小学校の運動会が先週とか、この近辺でも行われたと思うんですけども、名古屋

市などでも半数以上が半日の実行で、豊田や安城もそういった傾向がふえているようなのですが、大口町はどのようにお考えなのでしょうか。

○長屋教育長 今のところ、見ますと、まず運動会の開催が熱中症というようなことから、春に持ってきているところが、この近くですと扶桑町で1校、江南市で4校あるようです。それから、現時点で、この丹葉地区で半日日程で運動会をやっている学校はありません。ところが、新聞を読みますと、新聞で熱中症関係のこと、それから教員の多忙化解消というような面から、半日日程で実施というところがふえているようですが、新聞の内容等を見てみますと、それについても賛否両論があるようですので、この件も一回、学校の校長先生方と学校連絡会を通して、今後、近隣市町の動向も見ながら検討は加えていきたいなと思っております。現時点では、そんなところです。

○鈴木委員 はい、わかりました。

○丹羽生涯学習課長 一点、関連してでございますけれども、生涯学習課のほうはスポーツ少年団の活動がございまして、先般、5月末に各役員の方に集まっていたいて、同様に1日練習は行わない、半日以下の練習でとりあえず試行してみようということで決まりましたので、あわせて御報告させていただきます。

○長屋教育長 あとよろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 それでは、以上で全ての案件が終了しました。

これをもって教育委員会5月定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

(午前10時25分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員

委 員